

No. 1296

インターグシケン快勝

第39回菊花賞

4歳馬の最後のクラシックレース第39回菊花賞は11月12日小雨降る京都競馬場で行われました。東西の優駿20頭が距離3000メートルに覇を競います。

(実 況)

ダービー馬サクラショウリは逃げるチェリーリュウをマークしながらバンブトンコートと共に中団グループで待機、1周目正面スタンド前を通過します。

結局3番人気のインターグシケンが直線鋭く伸びて3分06秒2の記録タイムで快勝、内閣総理大臣賞と1着賞金4,800万円を獲得しました。

日米議員シンポジウム開幕

日・米両国国会議員による日米議会政治評議会主催の東京シンポジウムが11月14日から開幕。これに先だち13日夜、東京のホテルで歓迎式典が行なわれた。

岸信介、議長のおいさつのあと、日米の議員が入り乱れての歓迎パーティー。米国議員は旅の疲れも見せず、楽しい一時を過ぎた。翌14日、午前中、全体会議がもたれ、シンポジウムの実行委員長である福田首相が基調演説を行った。午後からは衆院別館で農業・漁業、エネルギー、外交・軍事、貿易の四分科会に分れ、自民党議員と米・下院議員が、それぞれ意見を交換、中でも、外交・軍事分科会は日米間の防衛協力問題を軸に突っ込んだ討議が行なわれた。また貿易分科会では日本が日米両国の通商問題を協議するための『日米議員合同委員会』の設置を提案、これに対し、米側も、貿易不均衡が改善されるまでの期限内と条件付きながら、同意した。しかし、「日本が米国製品の具体的な約束をしないかぎり来年の米国議会では保護貿易的な法案が次々と提出されるだろう」と不均衡貿易に強い不満を示した。シンポジウムは18日まで行なわれるが日米間に困難な問題が多いだけに十分な討議を尽してもらいたいものである。